

No. J01	ヤマチャン	年 月 日	令和5年11月23日(木)
---------	-------	-------	---------------

## 設問

## [問い1]

- 1) Aさんにとって、「同期のBさんに追いつく」というのはどういったものになるのでしょうか？
- 2) Aさんにとって、「知識やスキルを身につける」というのはどういった意味になるのでしょうか？
- 3) 「自信のない自分を隠そうとしていたのかな」と仰っていましたが、どういったことでしょうか？
- 4) 一生懸命に説明したり、気合を入れて取り組んだご自身を振り返ってどのように思われますか？
- 5) 「教授や友人など周りから一目置かれる」ことは、Aさんにとってどのような意味になりますか？
- 6) Aさんは、この仕事自体はされていてどのように感じていらっしゃいますでしょうか？

## [問い2]

事例ⅠのCCt7 （相応しい・相応しくない）

理由： 良) 言語的追跡を意識した質問による応答が出来たことで、相談者の発話量が増え信頼関係の構築に繋がったと考える。「自信」に関して質問した際には、内省が深まった様子が見られた点。

事例ⅡのCCt9 （相応しい・相応しくない）

理由： 悪) 時間の関係もあり、内省が深まった応答から深掘りすることが出来なかった。相談者にとって同期のBさんに追いつく事がどのような意味を持つのかお話を聴くことが出来なかった点。

## [問い3]

冒頭では、初めて任されたメイン担当では気合を入れて取り組んでいるが、この先やっつけられるか不安になった。お話を伺うと、客先の担当者に対し一生懸命に説明したものの、受け入れてもらえず自信の無さを見透かされているような気分になった。同期のBさんのどんどん経験を積んでいく様子を見て焦っていた。このことから、職場および各先から求められている内容に関する仕事理解不足、周りに認められることを気にしてしまう自己理解不足。以上の点が現時点での主訴であるとする。

## [問い4]

引き続き、相談者の不安というお気持ちに寄り添いながら、初めて任されたメイン担当では気合を入れて取り組んでいる現状を労い、丁寧に傾聴することで信頼関係の構築に努める。それによって、相談者の仕事について求められていること及び今の仕事をやっつけてどう思うのか質問し、仕事理解を確認し振り返って頂く機会を設ける。次に「自信のない自分を隠そうとしていたのかな…」という発言に焦点を当て、自己理解を深めるお手伝いをする。以上のことから、相談者の仕事理解および自己理解を深め、相談者が前向きな働き方を主体的に選択、実行できるよう支援していく方針とする。